

# 米社に表面硬化技術供与

## ポリカーボネート向け 車窓採用に弾み

### レニアス

【福山】レニアス（広島県三原市、前田導社長、084-8-86-1137）は、化学材料メーカーのモメンテイブパフォームスマテリアルズに、ポリカーボネート（PC）の表面をガラス並みに硬化する「スーパーハードコート」技術を供与した。自動車メーカーとの取引が多いモメンテイブを通じて、自動車のサイドウインドウやリアウインドウで硬化ポリカーボネート採用拡大を狙う。



①ガラス表面②スーパーハードコートを施したPC表面③通常PC樹脂。摩耗試験では、スーパーハードコートを施したPC表面は、ガラス表面と同等の傷つきにくさを実証した

レニアスのスーパーハードコート技術は、ポリカーボネートの表面にハードコート層を塗布して紫外線を当てることによって表面改質が起これ、酸化シリコンの膜ができる。この被膜は透明度があり、硬度が高く、傷が付きにくいのが特徴。欧州自動車安全性要求規格のL規格をクリアし、自動車のサイドとリアウインドウで採用可能となっている。自社の摩耗試験でも、ガラス同等の硬さを確保した。レニアスはスーパー

ハードコートを施したポリカーボネートを使って林業機械や建設機械のキャビンを製造しており、その量産技術もモメンテイブに提供

する。ハードコートに必要な液などを製造するモメンテイブは、材料とレニアスの技術を合わせて各国の大手自動車メーカーにライセンス供与する。自動車燃費向上のため軽量のポリカーボネート材を採用する動きがある。このためレニアスでは、22カ国でスーパーハードコート技術の特許取得手続きを進めている。同時に2018年度までに本社工場、2ヶ所のスーパーハードコートポリカーボネート板を月産1万枚製造できる体制を整える。